



創刊・最終号
2011年1月23日発行
生協労連中四国地連
2011年春闘組合学校
尾道ふれあいの里
TEL086-214-1420

春闘で最賃1000円実現を

一斉地方選、政治を変えよう

最低賃金の底上げで景気回復を

2011春闘組合学校は1月22日〜23日「尾道ふれあいの里」に52人が参加して、賃金引き上げ・雇用の安定、一斉地方選挙に影響を与える春闘にしっかりと学習した。

生存権を確保するためには、一刻も早く最低賃金の引き上げが必要です。全国平均の最低賃金は730円。失業率は依然5%台で推移。年間200万円以下で働く労働者は、1000万人を大きく超えています。さらに一人親世帯では、ダブルワーク・トリプルワークで生計を立てています。まさに生存権が脅かされています。最低賃金の引き上げが、景気回復の鍵です。私たちの運動で、民主党政権も「2020年までに、最低800円、全国平均1000円」と公約しています。最低賃金1000円が実現すれば、月額155,000円と

衝撃的な社会情勢

冒頭、植水地連委員長のあいさつでは、2009年度の労働者の賃金は24万円弱(5.5パーセント)ダウンしているとの報告がありました。

雇用問題も深刻です。10月1日時点での大学生の就職内定率は、前年よ

り4.9ポイント低い57.6パーセント「就職氷河期」といわれた2003年の60.2パーセントも下回り、調査お開始した1996年以降で最悪の状況になっています。一方大企業は内部留保金お過去最大の244兆円に拡大しています。

中四国地連の情勢で、組織的に困難な労組があること、CSの動きが単協の雇用に直接影響を与えているなど春闘を闘う上でのポイントとなる報告がなされ、春闘の重点の柱を、最賃と雇用とし、

最賃と雇用、春闘の闘い方確認 中四国地連・村上書記長が提案

組織拡大と組織強化を意識的に進めること、単協の経営状況に合わせた闘いを展開することなどが確認されました。今後、統一スケジュールに結集し闘って行くこととなります。

生協労連渡邊書記次長に2011年生協労連春闘方針について、PPPのことなど、様々な社会情

渡邊書記次長が語る

勢を含めてご説明いただきました。特に、強調されて話さ

保障であります。最賃1000円の実現が、景気回復の近道、決定打であるといえます。憲法で定められている、人間らしい生活をおくるためには、最賃1000円以上が必要であるといえ、この春闘の最大の課題といえます。



なり、正規の賃金へ波及し景気を押し上げます。自治体が、コスト偏重で事業を発注するため、そこで働く労働者の生活苦が作り出されています。自治体が発注する事業が大きくコストダウンされると民間の給与水準

☆児童養護施設にタイガーマスクの「伊達直人」を名乗ってランドセルをプレゼントするという心温まるニュースで気になることが2点。1つは、伊達直人の「達」という手書きの文字。テレビを見た限りでは、しんにゅうの中に「幸」になっているケースがほとんど。これって単純な間違い？それとも「幸せになつて」という願いを込めたのか？もう1つは「日本に寄付の文化がない」という報道。そんな決めつけはどうか。庶民は寄付できるほど裕福がないし、大金持ちがケチつてことだら。 (S)

中四国地連恒例 「おみやげ」争奪戦 次回、北海道から何か届くか？

初日のプログラム終了後は、18時から夕食交流会。大野副委員長の乾杯後みんなは一斉に料理に。一息ついて、司会者の進行で各県単組紹介が始まりました。いつごろか



10単組52人が参加

らか単組紹介は各県の名物を持ち寄り『じゃんけん・ゲーム・クイズ・ビンゴ』など、お土産の数ほどゲットできる人を選びます。
『2011年春闘組合



C X 西岡さんを激励

この人 元気

正規女性ただ一人参加
生協ひろしま

林 佳代さん
入協 25年、現在は無



店舗事業部・装いで働いています。趣味はと聞くと「山ガールになる」との答え。今年の正月に宮島の弥山に登ったことがきっかけ。最初はしんどかったけど、頂上に着くと天気にも恵まれ本当に気持ち良かった！と目覚めたらしい。
また、日頃の運動不足を解消しようとはじめたウォーキング、歩いていたら小走りになり、ただそれだけではと近所のママ友を誘い、今年の11月に行われる国際平和マラソンを走ることを目標に頑張っているとのこと。キーワードは「健康」と力強く語る林さんには、21歳の娘さんと17歳の息子さんがいるとの事。とても、そんな大きなごどもさんがいるとは思えない、とっても若い元気な林さんでした。

学校』交流会の主役は合同労組西奥さん。CXG労組の結成の激励も込めて沢山のお土産を貰ってこの笑顔！
奮闘を期待しています。
生協労連から参加の渡辺書記次長、ゲットしたお土産を持って、『中四国地連でこのような交流会があることを知らなかったの、次回来るときは北海道のお土産を持参します。』とあいさつする、会場から「かに！」「タラバ！」「いくら！」の大合唱。渡辺さん次回が無いなんて、ことはいですよね。
おみやげ忘れた？おか

分科会で白熱した論議？

今度は中央行動で
年末の大雪に苦しめられた鳥取と島根も元気に参加。それぞれのテーブルでは賑やかに交流の輪が広がりました。色々困難な課題

が山積みの2011年ですが、この春闘組合学校で学んだことを糧にして団結して頑張ってくださいませよう！
2月10日は日比谷の野音で中央総行動があります。みんな参加しましょう。

やま西崎書記長『・・欲しければ岡山に来て自分で買え・・』さすが三代目はしつかり(村上さんから)岡山の書記長としての人格を継承されていると感嘆。10数年前パート部会の交流会で甘い声で歌ってくれたあの西崎さんもしつかり岡山カラーに染まっていたのですね。一人で参加したとくしまの豊田さん。
笑顔・笑い、みんなパワー全開。2011年春闘に向けて今日のパワーを単組に持ち帰り、みんな頑張って春闘を闘うことを確信した元気な交流会でした。



最賃1000円要求で白熱 (第1分科会)



公契約で熱く語る村上書記長 (第3分科会)



単組報告をする高知の中岡さん (第2分科会)